

Allegro バーチャルエディション データシート



ネットワーク管理者向け 分析とデバッグのための 仮想アプライアンス

- ✓ L2 から L7 までのすべてのメタデータを分析して関連付けます
- ✓ 選択および過去に遡ってPCAPを抽出します。
- ✓ L2 から L7 までのリアルタイム検索とフィルタリング
- ✓ アクティブな電子メール アラート
- ✓ 簡単なライセンス認証
- ✓ ドイツにて設計および製造
- ✓ ドイツから直接サポート

あらゆる PC でのライブおよび Pcap 分析用に設計

Allegro バーチャル エディション は、適切な仮想化を備えた Windows、Linux、または MacOS 上の 2011 年以降のすべての 64 ビット x86 コンピューター上で実行されます。これにより、無制限の接続と IP アドレスを使用して、あらゆるサイズの仮想トラフィックと pcap を分析できます。

仮想トラフィックのリアルタイム統計情報とPCAPs

Allegro バーチャル エディション は、Allegro アプライアンスがネットワーク上のパケットを分析するのと同じ方法で、仮想トラフィックからライブ ネットワーク統計情報を提供します。pcaps を使用しても、すぐに分析を開始でき、完全なファイルがロードされるまで待つ必要はありません。Allegro Virtual Edition では、ISO スタックのレイヤー 2-7 の選択的なパケット抽出が可能になります。

直感的な Web インターフェイス

使いやすい Web ベースのユーザー インターフェイスは、仮想トラフィックの分析を実行する場合でも、有線トラフィックの分析を実行する場合でも、物理的な Allegro アプライアンスのインターフェイスと同じです。IP、MAC、L7 プロトコル、TCP 送信などの包括的な概要と詳細な統計情報の両方を提供します。

強力でスケーラブル

Allegro バーチャル エディション は、スケーラブルなソリューションです。低コストで導入できるポータブル分析用のノートブック、または非常に大きな pcap に対応する適切な RAM を備えたサーバー上で使用します。Allegro は、CPU の数に応じて処理速度が向上するだけでなく、インメモリ データベース用の RAM の増加にも対応します。

多彩な分析モジュール

Allegro バーチャル エディション は、L2 から L7 までの複数の分析モジュールを統合します。ネットワークの問題を特定するのに役立ちます。L2 のマイクロバースト、L4 の特定のホストの TCP 再送信、または数時間前に発生した Windows アップデートなどの特定のプロトコルの上位トラフィック発信元に対するものです。

ドイツ製の品質

Allegro バーチャル エディションはライブツィヒで開発されています。Allegro Virtual Edition を購入すると、ドイツに拠点を置く Allegro社の高度な資格を持つチームからの直接サポートが含まれます。

表1 Allegro バーチャルエディション仕様

項目	Allegro Virtual Edition
オーダー ID	190
サポートされている仮想化	VMWare workstation (Win, Linux) VMWare fusion (Mac) VMWare ESXi 6.7.0 Virtualbox (Windows, Linux, Mac)
仮想マシンシステム要求仕様	Intel/AMD 64-Bit CPU (2011 onwards) 最低 2 CPU コア 最低 2 GB の RAM 最低 20 GB の HDD 空き容量
モニターポート	ERSPAN サポートを含む仮想ミラー ポート x 1
内部データベースストレージ	無制限, ホストに依存
スループット	無制限, ホスト CPU に依存
1 秒あたりの平均パケット数	無制限, ホスト CPU に依存
最大並列接続数	無制限, RAM サイズに依存
接続履歴	無制限, RAM サイズに依存
IPv4/v6 アドレス数	無制限, RAM サイズに依存
ジャンボフレーム	最低 9,000 bytes
保証	1 年または 3 年の更新